

2009年度

科目名	文化財学課題研究(保存科学の研究)			
担当教員	内田 俊秀			
配当	文修1・文博1	コード	70430	
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 4
授業テーマ	文化財を自然科学的手法で研究する			
目的と概要	現在、様々な自然科学的手法が文化財の分野に取り入れられている。これらを把握し、その効果と限界を理解しうる。			
成績評価法	授業の中での討論への参加と理解度			
テキスト	なし			
参考書	田邊三郎助監修『美術工芸品の保存と保管』フジテクノシステム1994年			
履修に当たっての注意・助言	自然科学的手法と言っても、考古学や美術史の理解の補助的な手段として考えてください。			
講義計画				
<p>前期: 研究史、金属製文化財の研究手法につその成果と限界、保存処理について。石造文化財の研究手法について、その成果と限界、保存処理について。絵画などの美術工芸品における顔料の調査分析方法について。その成果と限界、修復について。</p> <p>後期: 木製文化財の研究手法について、その成果と限界、保存処理について。フレスコ画などの石灰からなる文化財の研究手法について、その成果と限界、保存処理について。和紙からなる文化財について、その成果と限界、修復について。</p>				